



2022年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年4月13日

上場会社名 株式会社カワサキ

上場取引所 東

コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 久典

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 池田 喜章

TEL 072-439-8011

四半期報告書提出予定日 2022年4月13日

配当支払開始予定日

2022年5月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第2四半期の業績(2021年9月1日～2022年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第2四半期	809	3.6	176	5.7	180	2.3	164	58.2
2021年8月期第2四半期	782	5.1	166	9.9	184	0.1	394	215.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第2四半期	76.72	
2021年8月期第2四半期	183.52	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第2四半期	6,290	4,667	74.2
2021年8月期	5,696	4,583	80.5

(参考)自己資本 2022年8月期第2四半期 4,667百万円 2021年8月期 4,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期		12.50		37.50	50.00
2022年8月期		20.00			
2022年8月期(予想)				30.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2022年8月期(予想)期末配当の内訳 普通配当20円00銭 特別配当10円00銭

なお、詳細につきましては、本日(2022年4月13日)公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正(特別配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年8月期の業績予想(2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,535	2.4	250	19.8	263	26.2	822	73.0	382.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2022年4月13日)公表いたしました「2022年8月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年8月期2Q	2,901,000 株	2021年8月期	2,901,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2022年8月期2Q	752,260 株	2021年8月期	752,260 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年8月期2Q	2,148,740 株	2021年8月期2Q	2,148,808 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(経営成績の状況)

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する他、ロシア・ウクライナ等国際情勢が不安定であり、原油高をはじめインフレ懸念及び円安の進行等依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境下、当社の服飾事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛や新しい生活様式もたらす消費行動の変化による業績への影響は継続するという前提のもと、黒字化を目標に掲げて取り組んだ結果、堅調に推移しました。また、賃貸・倉庫事業におきましては、引き続き稼働率も高く新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響は軽微となりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は売上高809,965千円、営業利益176,480千円、経常利益180,262千円、四半期純利益164,841千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(服飾事業)

当事業部門におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による消費の落ち込みから、売上は若干持ち直しの兆しがあり、販売体制の見直し、コストダウンの推進、販売在庫品目の整理等で収益体質の改善がさらに進んでおります。その結果、売上高は318,494千円、営業利益が16,038千円となりました。

(賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は軽微で底堅く推移しました。その結果、売上高は491,470千円、営業利益は160,441千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて211,769千円(41.3%)増加し、724,069千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が234,566千円増加し、商品及び製品が20,414千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて382,943千円(7.4%)増加し、5,566,648千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物(純額)が150,001千円、その他に含まれる敷金及び保証金が267,557千円増加し、繰延税金資産が15,079千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べて608,082千円(115.4%)増加し、1,135,155千円となりました。この主な要因は、短期借入金が700,000千円増加し、一年内返済予定の長期借入金が46,910千円、その他に含まれる圧縮未決算特別勘定が69,547千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べて97,655千円(16.7%)減少し、487,636千円となりました。この主な要因は、長期借入金が83,640千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて84,284千円(1.8%)増加し、4,667,925千円となりました。この主な要因は、四半期純利益を164,841千円計上したものの、配当による減少80,557千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月14日に公表いたしました業績予想を2022年4月13日付「2022年8月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正しております。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	161,504	396,070
受取手形及び売掛金	38,103	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	46,931
商品及び製品	235,256	214,842
原材料及び貯蔵品	34,902	33,185
その他	43,091	33,993
貸倒引当金	△557	△953
流動資産合計	512,300	724,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,981,103	2,131,104
機械装置及び運搬具（純額）	280,896	263,841
土地	2,650,802	2,650,802
その他（純額）	17,363	19,867
有形固定資産合計	4,930,166	5,065,614
無形固定資産	19,354	14,418
投資その他の資産		
繰延税金資産	93,162	78,082
その他	141,022	408,532
投資その他の資産合計	234,185	486,615
固定資産合計	5,183,705	5,566,648
資産合計	5,696,006	6,290,718

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,294	6,168
短期借入金	-	700,000
1年内返済予定の長期借入金	235,850	188,940
未払費用	39,816	41,712
未払法人税等	36,370	69,888
賞与引当金	1,789	1,775
その他	209,954	126,671
流動負債合計	527,073	1,135,155
固定負債		
長期借入金	130,990	47,350
役員退職慰労引当金	12,516	7,316
資産除去債務	222,284	222,860
その他	219,500	210,109
固定負債合計	585,291	487,636
負債合計	1,112,364	1,622,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300	4,300
資本剰余金	1,025,937	1,025,937
利益剰余金	4,028,620	4,112,905
自己株式	△475,216	△475,216
株主資本合計	4,583,641	4,667,925
純資産合計	4,583,641	4,667,925
負債純資産合計	5,696,006	6,290,718

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)
売上高	782,010	809,965
売上原価	396,621	450,284
売上総利益	385,389	359,680
販売費及び一般管理費	218,488	183,200
営業利益	166,900	176,480
営業外収益		
受取利息	0	0
補助金収入	15,627	-
協力金収入	-	980
受取手数料	-	2,378
その他	2,989	1,084
営業外収益合計	18,617	4,443
営業外費用		
支払利息	865	648
その他	123	13
営業外費用合計	989	662
経常利益	184,528	180,262
特別利益		
固定資産売却益	240,528	-
抱合せ株式消滅差益	122,915	-
圧縮未決算特別勘定戻入額	-	69,547
特別利益合計	363,443	69,547
特別損失		
固定資産除却損	3,525	-
店舗閉鎖損失	3,022	-
役員退職慰労金	99,166	-
特別損失合計	105,714	-
税引前四半期純利益	442,257	249,809
法人税、住民税及び事業税	144,199	69,888
法人税等調整額	△96,294	15,079
法人税等合計	47,905	84,968
四半期純利益	394,352	164,841

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	442,257	249,809
減価償却費	119,230	112,758
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,099	396
賞与引当金の増減額(△は減少)	499	△14
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	101,766	△5,200
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	865	648
為替差損益(△は益)	△7	△13
有形固定資産売却損益(△は益)	△240,528	-
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	△122,915	-
売上債権の増減額(△は増加)	△12,577	△8,827
棚卸資産の増減額(△は増加)	43,028	22,131
仕入債務の増減額(△は減少)	4,361	2,874
その他	△18,610	△80,930
小計	316,271	293,633
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△759	△648
法人税等の支払額	△26,795	△36,370
営業活動によるキャッシュ・フロー	288,717	256,614
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,806	△243,396
有形固定資産の売却による収入	640,140	-
差入保証金の差入による支出	-	△267,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	638,333	△510,954
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△141,020	△130,550
配当金の支払額	△26,860	△80,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△667,880	488,892
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	259,178	234,565
現金及び現金同等物の期首残高	109,191	161,504
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	15,151	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	383,520	396,070

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当該会計基準の適用による当第2四半期累計期間の損益及びセグメント情報並びに期首利益剰余金に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

また、収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形」及び「売掛金」は、第1四半期会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」として表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	306,554	475,456	782,010
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	306,554	475,456	782,010
セグメント利益	4,738	162,162	166,900

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	318,494	491,470	809,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	318,494	491,470	809,965
セグメント利益	16,038	160,441	176,480

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は、2022年2月24日開催の取締役会において、以下のとおり、当社が保有する固定資産の譲渡を決議し、2022年3月1日に当該資産を譲渡いたしました。

1. 譲渡の理由

経営資源の有効活用及び財務体質の強化を図るため、当社が保有する以下の固定資産の譲渡を決定いたしました。

2. 譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地	譲渡価額	帳簿価額	譲渡益
所在地：奈良県天理市南六条町元柳生方87番3 土地：面積3,808.32㎡ 建物：地上6階 延べ床面積7,011.86㎡	1,070百万円	127百万円	約907百万円 ※

※譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額及び譲渡に係る費用等の見積額を控除した概算であります。

3. 譲渡先の概要

名称	ケネディクス商業リート投資法人
所在地	東京都千代田区内幸町二丁目1番6号
代表者の役職・氏名	執行役員 渡辺 萌
主な事業内容	不動産等資産に対する投資運用
出資総額	133,103百万円
設立年月日	2014年10月1日
純資産	137,052百万円(2021年9月30日現在)
総資産	272,622百万円(2021年9月30日現在)
当社との関係	通常の取引関係を除き、資本関係、人的関係に特記すべき事項はありません。また、関連当事者にも該当しません。

4. 譲渡の日程

取締役会決議日	2022年2月24日
譲渡契約締結日	2022年2月24日
物件引渡日	2022年3月1日

5. 今後の見通し

当該固定資産の譲渡に伴い、2022年8月期第3四半期決算において、固定資産売却益約907百万円（概算）を特別利益に計上する予定であります。